

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	喜多方市家庭教育支援チーム“もも” (呼称: 喜多方市家庭教育支援員)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	喜多方中央公民館
活動範囲	喜多方市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (平成 25・26 年度と中央公民館との連携講座、就学検診時講座)
組織体制	<u> 9 </u> 人 主任児童員1人、元教員 1 人、人権擁護委員 1 人、 子育てサポーター4人、PTA役員1人、スポ少世話人1人
具体的な活動内容	<p>○年に4回、家庭教育講座を主催する。(託児あり)</p> <p style="padding-left: 2em;">平成26年度 6月「食べ物について」・・・食品添加物、糖分等の話。 9月「ミニ運動会」・・・ハイハイする乳児からおとなまで参加。 11月「福島原発事故から3年が過ぎて」子ども達の甲状腺等の話。 3月「救急対応講座」・・・誤飲、やけど、腹痛等の救急対応の話。</p> <p>○「子育て何でも相談」を電話や面接で随時行う。</p> <p>○月に1回、定例会議を行う。会員同士が情報を共有しながら、事業についての話し合いを行う。</p> <p>○保護者の交流の場を提供する。「ももクラブ」と称してお茶会を開く。</p>
活動を通して感じていること (成果、課題など)	<p>年4回の講座の内、3回は学ぶ事を目的にして、1回は体を動かす事を目的にして、計画を立てています。これまでは、どの講座も平日ばかりに行っていましたが、平成26年度は日曜日に2回行ったところ、男性や平日はお勤めの女性の参加が増えました。事業を行う上で、日時の設定も大切だと実感しました。</p> <p>訪問型家庭教育支援に取り組む方法を模索しているところです。第一歩として、1つの小学校に絞り、校長先生の協力を得ながら、その学区を回ってみようか、でも、保護者が働きに出ている家庭が多いから、どのようにアプローチしようか等、話し合いを重ねています。</p>